

3) 脳神経外科

脳神経外科を専門とする回答者から、国および研究機関、民間企業に対する薬事承認、開発体制、研修制度などに関する課題が指摘された。

表3.2-74 今後のわが国における低侵襲医療機器の開発と普及についての意見（脳神経外科）

薬事承認	審査スピード	最先端のデバイスをすぐに使えるようにしてもらいたい。
	審査基準	ある程度規制を緩和しないと、独自の発想や医療の発展につながらない。
開発体制	治験	集学的な検討のため、大都市圏で大学を中心にその他の医療機関や研究機関さらに企業が協力して開発、普及していくことが望ましい。 ／他
	国際競争	米国など海外での開発品の導入に頼らず、Made in Japan の治療技術を開発すべき。使用できるデバイスが世界の標準から非常に遅れている。 ／他
	製品化	開発予算をつければ、すぐに改良できそうな機器が潜在的に多く眠っている。高価な機器がすぐに陳腐化する。 ／他
研修体制	研修機会	地方での医師の育成・教育は非常に遅れている。使用に習熟する機会。 ／他

3.3. 患者ニーズ Web アンケート調査

3.3.1. 調査概要

3.3.1.1. 調査目的

心臓血管領域および脳血管領域の疾患の罹患歴のある患者を対象に検査・診断時および手術・処置時の不安・不快について調査を行うことにより、既存の医療機器の課題を明らかにし、今後の医療機器の開発に役立てることを目的とする。

3.3.1.2. 調査対象

本調査の調査対象は、過去5年以内に循環器あるいは脳血管に関する疾患に罹患した経験を持つ、15歳以上の患者である。

モニターの特徴としては、インターネット調査会社（楽天リサーチ（株））の調査モニターのうち、循環器あるいは脳血管に関係する疾患の既往症のある患者を今回の調査対象とした。

3.3.1.3. 調査方法

本調査はインターネット上でアンケート調査を行った。

循環器あるいは脳血管に関係する疾患の既往症のある、15歳以上のモニター約7,000人に対して、アンケートの調査依頼メールを配信した。

事前スクリーニングとして、心臓血管系の代表的な疾患6項目、脳血管系の疾患3項目を提示し、過去5年以内に罹患したもっとも重度と感じた疾患について質問した。提示した疾患に罹患していない場合は調査画面を終了させ、調査対象外とした。

本調査では、回収目標件数として500件を設定し、目標件数に達した時点で回答を締め切った。

3.3.1.4. 調査期間

2007年10月2日～2007年10月3日

3.3.1.5. 総回答件数

総回答件数は500件であった。

3.3.1.6. 調査項目

本調査の調査項目は以下のとおりである。

表3.3-1 心臓血管領域・脳血管領域におけるアンケート調査項目

項目	概要
スクリーニング	(1)回答者の病歴・治療歴
本調査項目	(2)受けた手術・処置の種類
	(3)現在の通院状況
	(4)検査・診断時の不安・不快
	(5)検査・診断時の不安・不快の内容
	(6)手術・処置時の不安・不快
	(7)手術・処置時の不安・不快の内容
	(8)希望したにもかかわらず受けられなかった「手術・処置」の有無
	(9)希望したにも関わらず受けられなかった手術・処置に関するコメント
	(10)属性情報（性別、年齢階級、居住地、職業）

3.3.2. 調査結果

3.3.2.1. 回答者の属性および基本情報

(1) 性別にみた回答者の割合

性別にみた回答者の割合は、男性が70.4% (352件)、女性が29.6% (148件)であった。回答者の7割が男性であった。

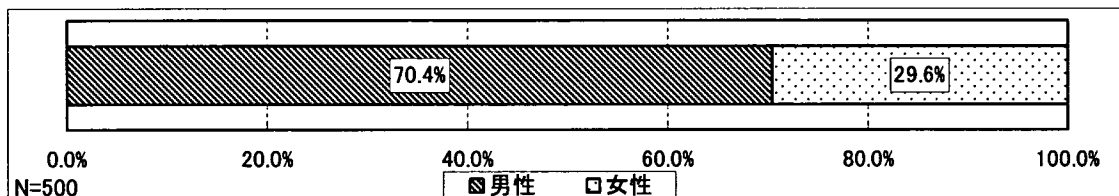


図3.3-1 性別にみた回答者の割合 (単数回答)

(2) 年齢階級別にみた回答者の割合

年齢階級別にみた回答者の割合は、全体では40歳代が31.2% (156件)と最も多く、次いで50歳代が22.2% (111件)、30歳代が21.8% (109件)であった。年齢階級別・性別にみた回答者の割合は、男性では40歳代が33.0% (116件)と最も多く、次いで50歳代が25.6% (90件)、60歳代が17.0% (60件)であった。女性では30歳代が37.8% (56件)と最も多く、次いで40歳代が27.0% (40件)、50歳代が14.2% (21件)であった。

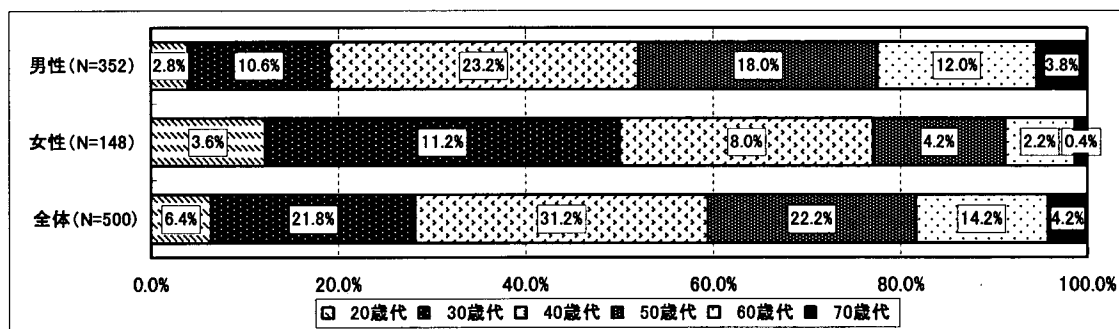


図3.3-2 年齢階級別・性別にみた回答者の割合 (単数回答)

表3.3-2 年齢階級別・性別にみた回答者の割合 (単数回答)

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
男性	%	2.8	10.6	23.2	18	12	3.8	0
	件	14	53	116	90	60	19	352
女性	%	3.6	11.2	8	4.2	2.2	0.4	0
	件	18	56	40	21	11	2	148
全体	%	6.4	21.8	31.2	22.2	14.2	4.2	0
	件	32	109	156	111	71	21	500

(3) 居住地域別にみた回答者数の割合

居住地域別にみた回答者の割合は、東京都が15.0%と最も多く、次いで神奈川県が10.2%、兵庫県が7.6%、大阪府が6.6%であった。

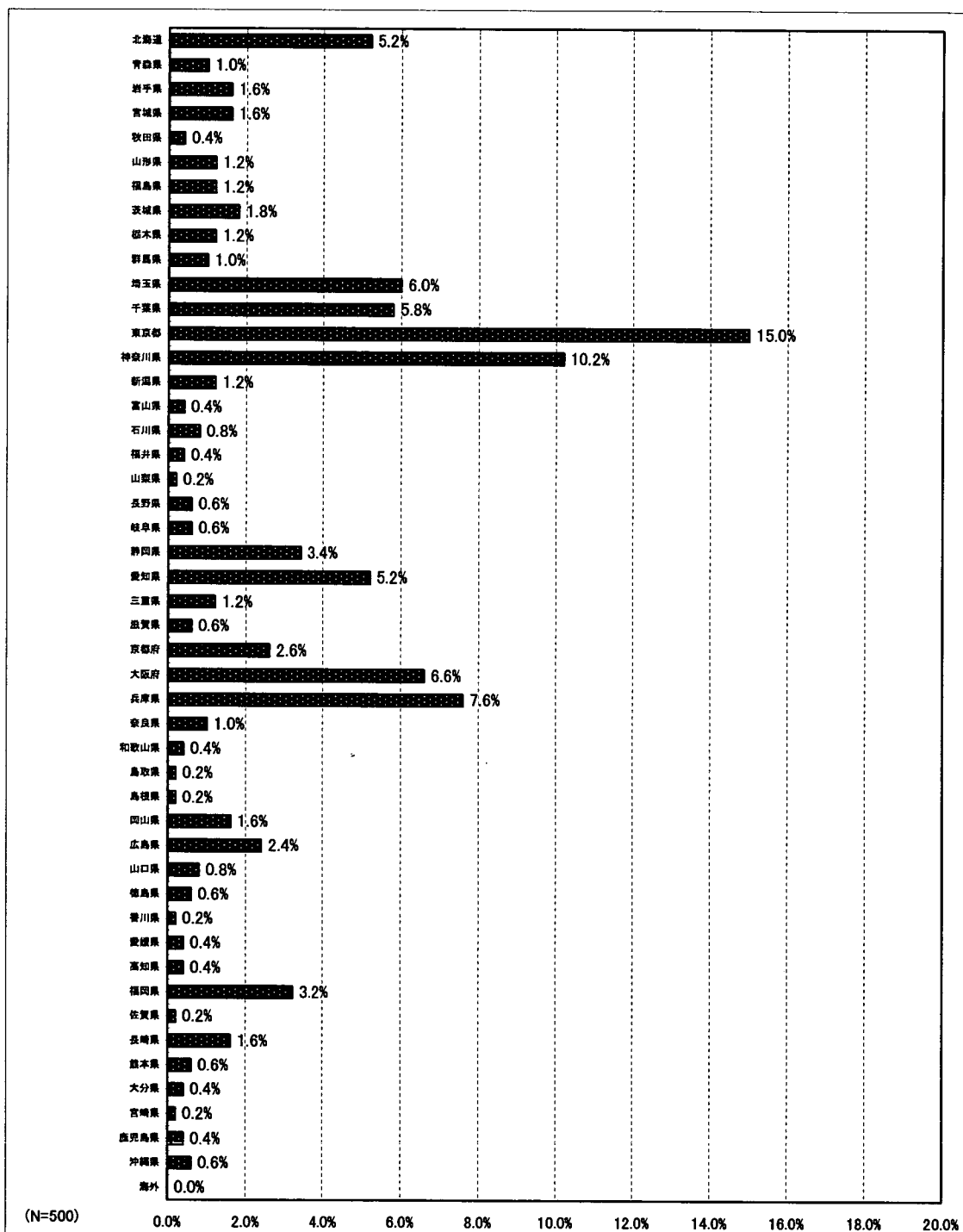


図3.3-3 居住地域別にみた回答者の割合（単数回答）

(4) 職業別にみた回答者の割合

職業別にみた回答者の割合は、会社員が 41.8% (209 件) と最も多く、次いで自営業が 11.2% (56 件)、主婦が 9.8% (49 件) であった。

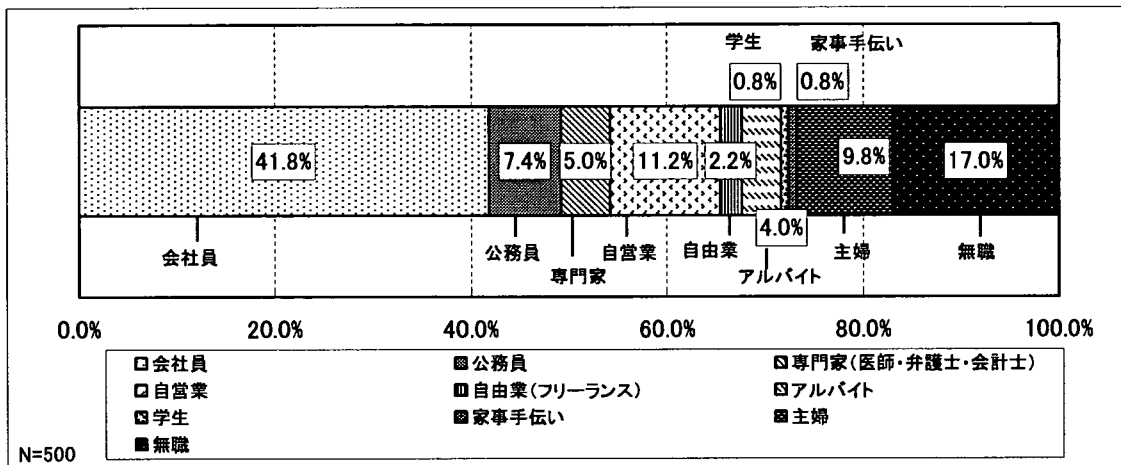


図3.3-4 職業別にみた回答者の割合 (単数回答)

表3.3-3 職業別にみた回答者の割合 (単数回答)

職業		
会社員	%	41.8
	件	209
自営業	%	11.2
	件	56
主婦	%	9.8
	件	49
公務員	%	7.4
	件	37
専門家 (医師・弁護士・会計士)	%	5
	件	25
アルバイト	%	4
	件	20
自由業 (フリーランス)	%	2.2
	件	11
学生	%	0.8
	件	4
家事手伝い	%	0.8
	件	4
無職	%	17
	件	85
全体	%	100
	件	500

3.3.2.2. 回答者の病歴・治療歴等

(1) 過去5年以内の循環器および脳血管に関わる病歴

過去5年以内の循環器および脳血管に関わる病歴でみた回答者の割合は、不整脈が47.0% (235件) と最も多く、次いで狭心症が18.2% (91件)、心筋梗塞が13.0% (65件)、脳梗塞が8.4% (42件)、脳出血が6.0% (30件) であった。

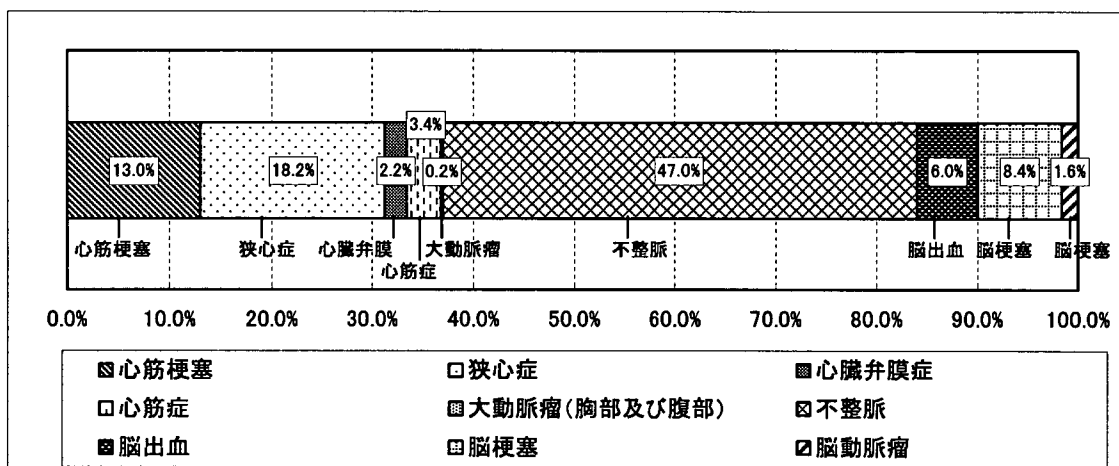


図3.3-5 過去5年以内の循環器および脳血管に関わる病歴 (単数回答)

表3.3-4 過去5年以内の循環器および脳血管に関わる病歴 (単数回答)

専門領域	疾患名	%	件数
循環器に関わる疾患	心筋梗塞	13.0%	65
	狭心症	18.2%	91
	心臓弁膜症	2.2%	11
	心筋症	3.4%	17
	大動脈瘤 (胸部及び腹部)	0.2%	1
	不整脈	47.0%	235
	上記の疾患にはかかっている	0%	0
脳血管に関わる疾患	脳出血	6.0%	30
	脳梗塞	8.4%	42
	脳動脈瘤	1.6%	8
	上記の疾患にはかかっている	0%	0
全体		%	件
		%	件

(2) 疾患区分別にみた回答者の構成

回答者の病歴に基づき、疾患を4つの疾患区分に分類した。心筋梗塞および狭心症は「心筋梗塞・狭心症」、不整脈は「不整脈」、心臓弁膜症および心筋症、大動脈瘤（胸部及び腹部）は「その他心臓疾患」、脳出血および脳梗塞、脳動脈瘤は「脳疾患」とした。

患区分別に回答者の構成をみると、「不整脈」が47.0%（235件）と最も多く、次いで「心筋梗塞・狭心症」が31.2%（156件）、「脳疾患」16.0%（80件）、「その他心臓疾患」が5.8%（29件）であった。

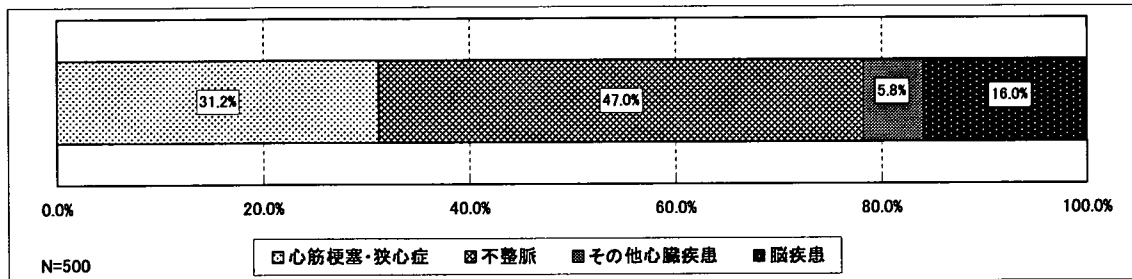


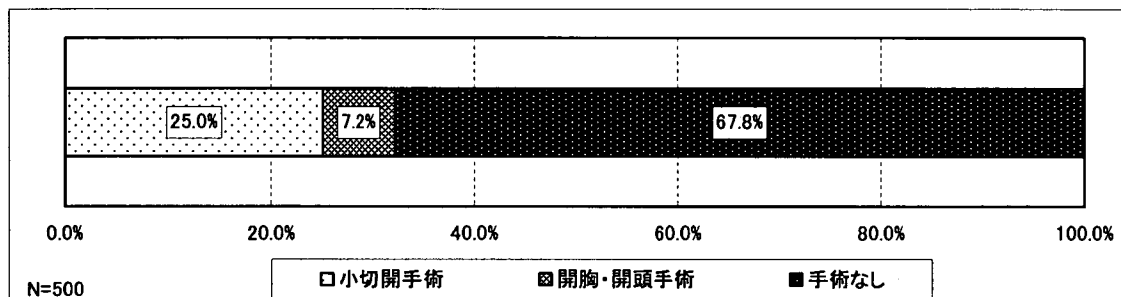
図3.3-6 疾患区分別にみた回答者の構成 (単数回答)

表3.3-5 疾患区分別にみた回答者の構成 (単数回答)

専門領域	疾患区分	疾患名		
循環器に関 わる疾患	心筋梗塞・狭心症	心筋梗塞、狭心症	%	31.2
			件	156
	不整脈	不整脈	%	47
			件	235
	その他心臓疾患	心臓弁膜症、心筋症、大動脈瘤（胸部及び腹部）	%	5.8
			件	29
脳血管に関 わる疾患	脳疾患	脳出血、脳梗塞、脳動脈瘤	%	16
			件	80
全体			件	500
			%	100.0

(3) 受けた手術・処置の種類

受けた手術・処置の種類でみた回答者の割合は、「手術なし」が67.8%（339件）と最も多く、次いで「小切開手術」が25.0%（125件）、「開胸・開頭手術」が7.2%（36件）であった²⁷。



注：「その他」と回答されたものは、記述内容を判断し該当する手術・処置区分に振り分けた。

図3.3-7 受けた手術・処置の種類（単数回答）

表3.3-6 受けた手術・処置の種類（単数回答）

受けた手術・処置の区分		
小切開手術	%	25.0
	件	125
開胸・開頭手術	%	7.2
	件	36
手術なし	%	67.8
	件	339
全体	%	100.0
	件	500

注：「その他」と回答されたものは、記述内容を判断し該当する手術・処置区分に振り分けた。

²⁷ 「小切開手術」とは、小さな傷の手術をいう。「開胸・開頭手術」とは、大きな傷の手術をいう。「手術なし」とは、小切開手術および開胸・開頭手術を受けていない（投薬のみなど）をいう。

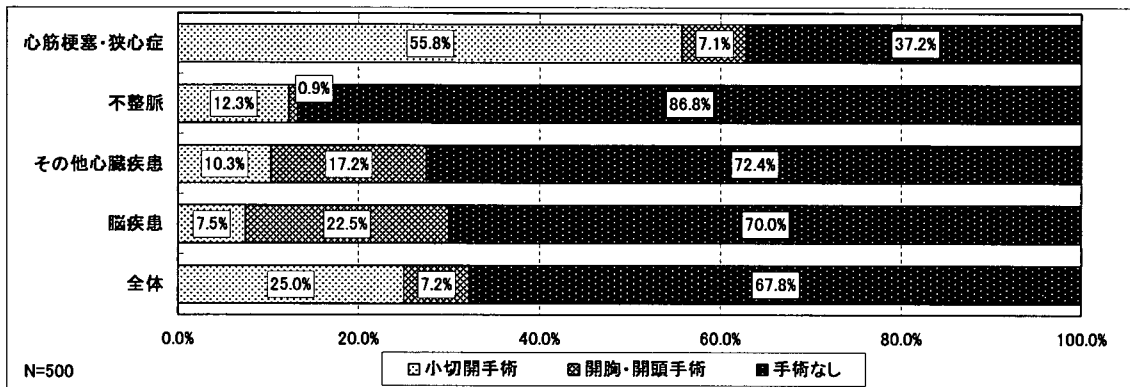
(4) 疾患区別にみた手術・処置の種類

疾患区別に手術・処置の種類にみた回答者の割合は、「心筋梗塞・狭心症」では、「小切開手術」が 66.8% (81 件) と最も多く、次いで「手術なし」が 55.8% (87 件)、「開胸手術」が 37.2% (58 件) であった。

「不整脈」では、「手術なし」が 86.8% (204 件) と最も多く、次いで「小切開手術」が 12.3% (29 件)、「開胸手術」が 0.9% (2 件) であった。

「その他心臓疾患」では、「手術なし」が 72.4% (21 件) と最も多く、次いで「開胸手術」が 17.2% (5 件)、「小切開手術」が 10.3% (3 件) であった。

「脳疾患」では、「手術なし」が 70.0% (56 件) と最も多く、次いで「開頭手術」が 22.5% (18 件)、「小切開手術」が 7.5% (6 件) であった。



注：その他の内容を該当する手術・処置に振り分けた

図 3.3-8 疾患区別にみた手術・処置の種類 (単数回答)

表 3.3-7 疾患区別にみた手術・処置の種類 (単数回答)

疾患区分		小切開手術	開胸・開頭手術	手術なし	全体
心筋梗塞・狭心症	%	55.8	7.1	37.2	100.0
	件	87	11	58	156
不整脈	%	12.3	0.9	86.8	100.0
	件	29	2	204	235
その他心臓疾患	%	10.3	17.2	72.4	100.0
	件	3	5	21	29
脳疾患	%	7.5	22.5	70.0	100.0
	件	6	18	56	80
全体	%	25.0	7.2	67.8	100.0
	件	125	36	339	500

注：その他の内容を該当する手術・処置に振り分けた

(5) 現在の通院状況

過去5年以内に循環器および脳血管の手術・処置を受けた回答者の、現在の通院状況を見ると、「現在も治療のため、通院している」が62.4%（312件）であった。

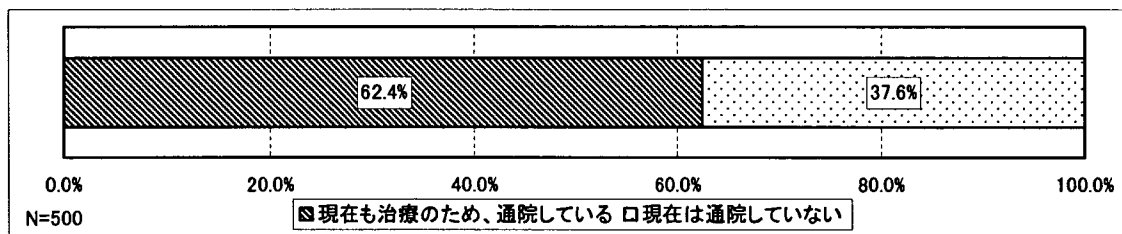


図3.3-9 現在の通院状況（単数回答）

表3.3-8 現在の通院状況（単数回答）

質問項目		
現在も治療のため、通院している	%	62.4
	件	312
現在は通院していない	%	37.6
	件	188
合計	%	100.0
	件	500

(6) 疾患区分別・処置区分別にみた現在の通院状況の割合

疾患区分別・処置区分別にみた回答者の現在の通院状況の割合は以下のとおりであった。

「不整脈（手術なし）」と回答した回答者の6割が現在は通院していなかった。それ以外の疾患では7割程度以上が現在も継続的に通院を必要としていた。

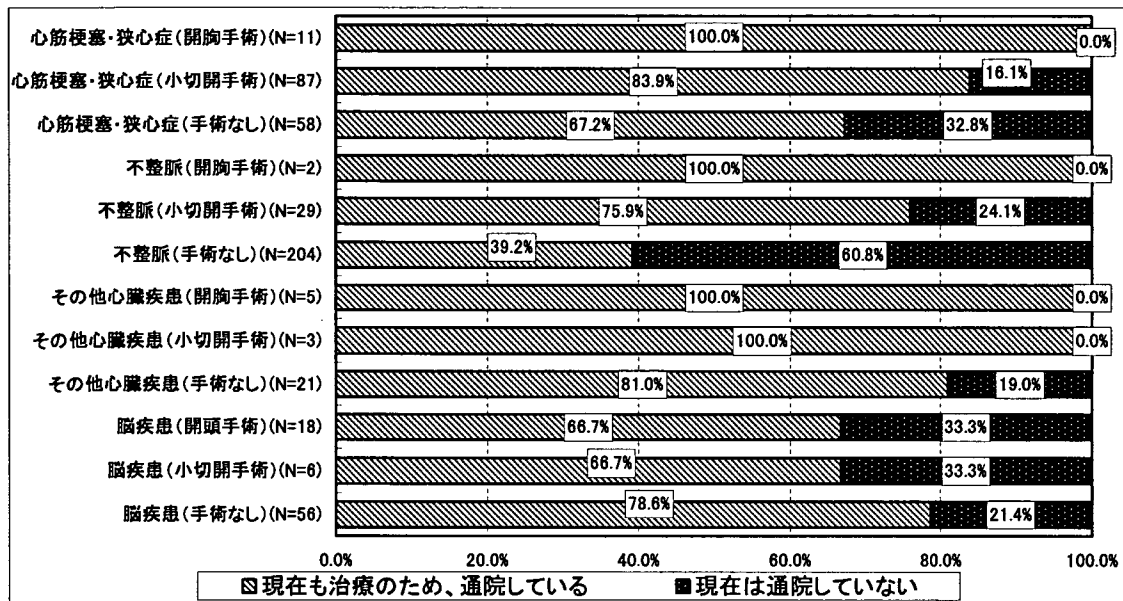


図3.3-10 疾患別・処置区分別にみた現在の通院状況の割合（単数回答）

表3.3-9 疾患別・処置区分別にみた現在の通院状況（単数回答）

疾患区分(処置区分)		現在も治療のため、通院している	現在は通院していない	合計
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	%	100.0	0.0	100.0
	件	11	0	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	83.9	16.1	100.0
	件	73	14	87
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	%	67.2	32.8	100.0
	件	39	19	58
不整脈(開胸手術)	%	100.0	0.0	100.0
	件	2	0	2
不整脈(小切開手術)	%	75.9	24.1	100.0
	件	22	7	29
不整脈(手術なし)	%	39.2	60.8	100.0
	件	80	124	204
その他心臓疾患(開胸手術)	%	100.0	0.0	100.0
	件	5	0	5
その他心臓疾患(小切開手術)	%	100.0	0.0	100.0
	件	3	0	3
その他心臓疾患(手術なし)	%	81.0	19.0	100.0
	件	17	4	21
脳疾患(開頭手術)	%	66.7	33.3	100.0
	件	12	6	18
脳疾患(小切開手術)	%	66.7	33.3	100.0
	件	4	2	6
脳疾患(手術なし)	%	78.6	21.4	100.0
	件	44	12	56
合計	%	62.4	37.6	100.0
	件	312	188	500

3.3.2.3. 検査・診断時の不安・不快

(1) 検査・診断時に不安・不快を感じた回答者の割合

① 全体

検査・診断時に不安・不快を感じた回答者の割合は、59.0% (295 件) が「なんらかの不安・不快を感じた」と回答している。不安・不快を感じなかった回答者のうち、34.4% (172 件) は意識があった、6.6% (33 件) は意識がなかったと回答している。

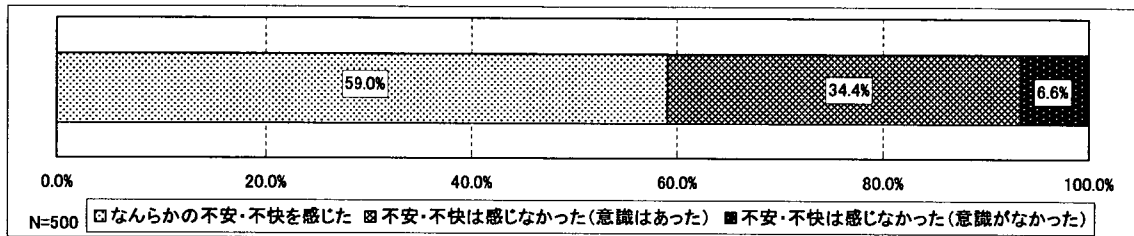


図3.3-11 検査・診断時の不安・不快（単数回答）

表3.3-10 検査・診断時の不安・不快（単数回答）

質問項目		
なんらかの不安・不快を感じた	%	59.0
	件	295
不安・不快は感じなかった(意識があった)	%	34.4
	件	172
不安・不快は感じなかった(意識がなかった)	%	6.6
	件	33
合計	%	100.0
	件	500

② 疾患区分別・処置区分別

検査・診断時に不安・不快を感じた回答者の割合を疾患区分別・処置区分別にみた割合は以下のとおりであった。処置区分が「手術なし」の不安・不快の割合は比較的低かった。その他心臓疾患で「小切開手術」を、脳疾患で「開頭手術」を受けた回答者のうち、不安・不快を感じなかった（意識なし）の割合はそれぞれ 33.3%（1件）、27.8%（5件）であった。

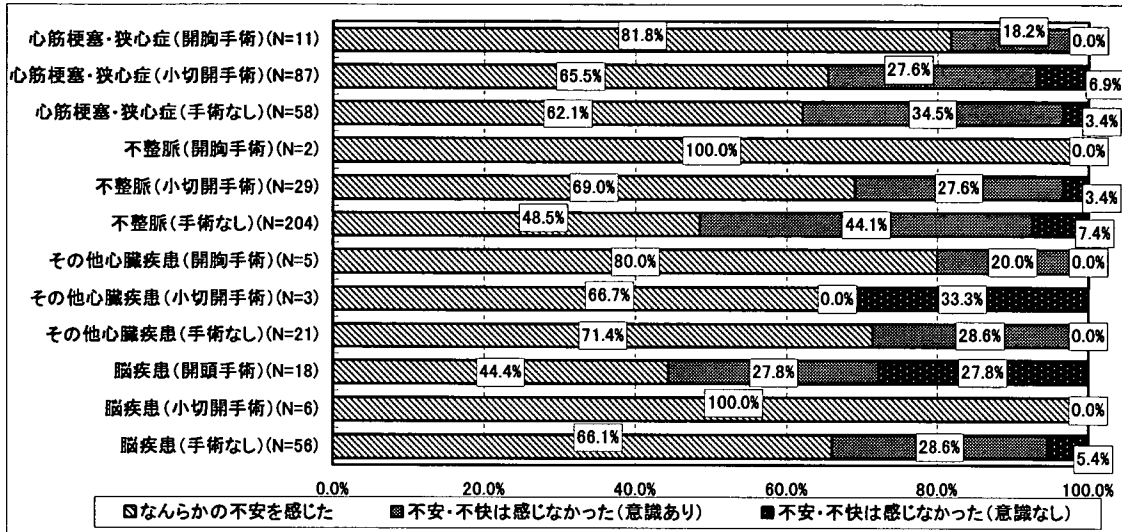


図3.3-12 疾患区分・処置区分別にみた検査・診断時の不安・不快を感じた人の割合

表3.3-11 疾患区分・処置区分別にみた検査・診断時の不安・不快を感じた人の割合

疾患区分(処置区分)		なんらかの不安を感じた	不安・不快は感じなかった(意識あり)	不安・不快は感じなかった(意識なし)	合計
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	%	81.8	18.2	0.0	100.0
	件	9	2	0	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	65.5	27.6	6.9	100.0
	件	57	24	6	87
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	%	62.1	34.5	3.4	100.0
	件	36	20	2	58
不整脈(開胸手術)	%	100	0.0	0.0	100.0
	件	2	0	0	2
不整脈(小切開手術)	%	69	27.6	3.4	100.0
	件	20	8	1	29
不整脈(手術なし)	%	48.5	44.1	7.4	100.0
	件	99	90	15	204
その他心臓疾患(開胸手術)	%	80	20.0	0.0	100.0
	件	4	1	0	5
その他心臓疾患(小切開手術)	%	66.7	0.0	33.3	100.0
	件	2	0	1	3
その他心臓疾患(手術なし)	%	71.4	28.6	0.0	100.0
	件	15	6	0	21
脳疾患(開頭手術)	%	44.4	27.8	27.8	100.0
	件	8	5	5	18
脳疾患(小切開手術)	%	100	0.0	0.0	100.0
	件	6	0	0	6
脳疾患(手術なし)	%	66.1	28.6	5.4	100.0
	件	37	16	3	56
合計	%	59.0	34.4	6.6	100.0
	件	295	172	33	500

(2) 検査・診断時の不安・不快の内容（全体）

不安・不快の内容としては、「検査・診断を受けるために日常生活が制限された（検査・診断のために数日入院したなど）」が25.8%（129件）と最も多く、次いで「検査・診断を受けたときに心理的圧迫感など精神的苦痛がともなった」が24.2%（121件）、「検査・診断を受けたときに騒音が気になった（MRI撮影など）」が12.0%（60件）、「検査・診断を受けたときに検査室内で長時間拘束された」が14.8%（74件）、「検査・診断を受けるために日常生活が制限された（検査・診断のために数日間入院したなど）」が25.8%（129件）、「検査・診断を受けるための費用が想定していたよりも高かった」21.6%（108件）であった。

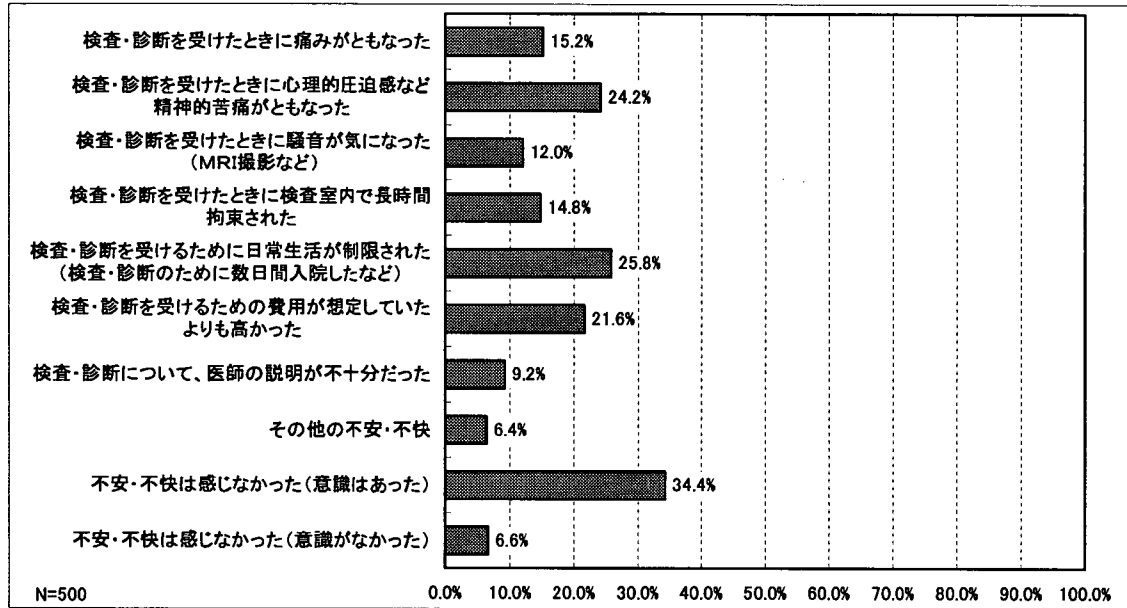


図3.3-13 検査・診断時の不安・不快の内容（複数回答）

表3.3-12 検査・診断時の不安・不快の内容（複数回答）

質問項目		
検査・診断を受けたときに痛みがともなった	%	15.2
	件	76
検査・診断を受けたときに心理的圧迫感など精神的苦痛がともなった	%	24.2
	件	121
検査・診断を受けたときに騒音が気になった (MRI撮影など)	%	12.0
	件	60
検査・診断を受けたときに検査室内で長時間拘束された	%	14.8
	件	74
検査・診断を受けるために日常生活が制限された (検査・診断のために数日間入院したなど)	%	25.8
	件	129
検査・診断を受けるための費用が想定していたよりも高かった	%	21.6
	件	108
検査・診断について、医師の説明が不十分だった	%	9.2
	件	46
その他の不安・不快	%	6.4
	件	32
不安・不快は感じなかった (意識があった)	%	34.4
	件	172
不安・不快は感じなかった (意識がなかった)	%	6.6
	件	33
全体	%	100
	件	500.0

(3) 検査・診断時に不安・不快を感じた割合（不安・不快の内容別）

① 「検査・診断を受けたときに痛みがともなった」の割合（無痛性の課題）

「検査・診断を受けたときに痛みがともなった」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

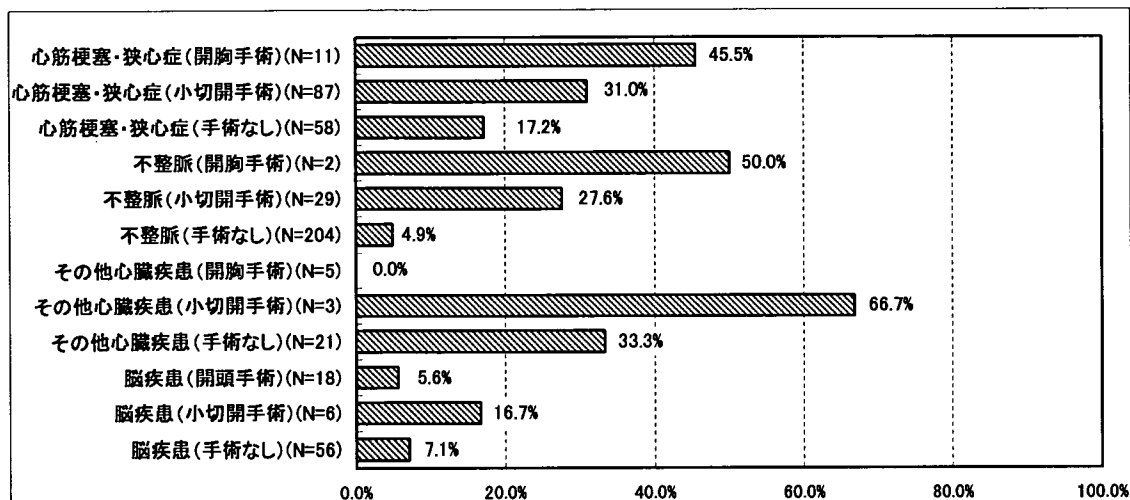


図3.3-14 「検査・診断を受けたときに痛みがともなった」の割合

表3.3-13 「検査・診断を受けたときに痛みがともなった」の割合

疾患区分(処置区分)		不安・不快を感じた	不安・不快を感じなかった	全体
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	%	45.5	54.5	100.0
	件	5	6	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	31.0	69.0	100.0
	件	27	60	87
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	%	17.2	82.8	100.0
	件	10	48	58
不整脈(開胸手術)	%	50.0	50.0	100.0
	件	1	1	2
不整脈(小切開手術)	%	27.6	72.4	100.0
	件	8	21	29
不整脈(手術なし)	%	4.9	95.1	100.0
	件	10	194	204
その他心臓疾患(開胸手術)	%	0.0	100.0	100.0
	件	0	5	5
その他心臓疾患(小切開手術)	%	66.7	33.3	100.0
	件	2	1	3
その他心臓疾患(手術なし)	%	33.3	66.7	100.0
	件	7	14	21
脳疾患(開頭手術)	%	5.6	94.4	100.0
	件	1	17	18
脳疾患(小切開手術)	%	16.7	83.3	100.0
	件	1	5	6
脳疾患(手術なし)	%	7.1	92.9	100.0
	件	4	52	56
全体	%	15.2	84.8	100.0
	件	76	424	500

注：その他心臓疾患(小切開手術)では33.3%が、脳疾患(開頭手術)では27.8%が「検査・診断時に不安・不快を感じなかった(意識なし)」と回答している。

② 「検査・診断を受けたときに心理的圧迫感など精神的苦痛をともなった」の割合（安心性の課題）

「検査・診断を受けたときに心理的圧迫感など精神的苦痛をともなった」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

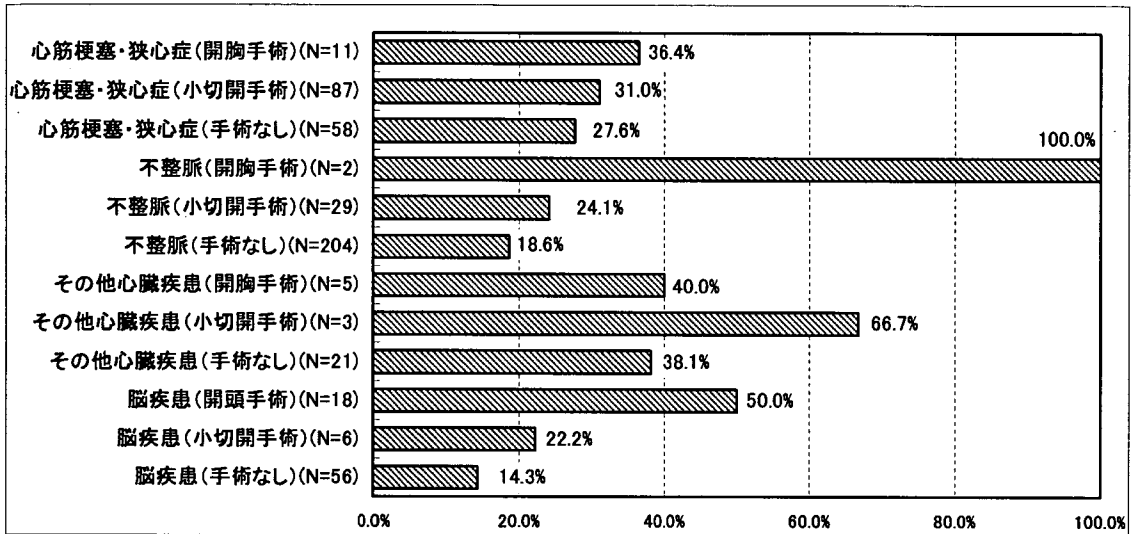


図3.3-15 「検査・診断を受けたときに心理的圧迫感など精神的苦痛をともなった」の割合

表3.3-14 「検査・診断を受けたときに心理的圧迫感など精神的苦痛をともなった」の割合

疾患区分(処置区分)		不安・不快を感じた	不安・不快を感じなかった	全体
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	%	36.4	63.6	100.0
	件	4	7	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	31.0	69.0	100.0
	件	27	60	87
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	%	27.6	72.4	100.0
	件	16	42	58
不整脈(開胸手術)	%	100.0	0.0	100.0
	件	2	0	2
不整脈(小切開手術)	%	24.1	75.9	100.0
	件	7	22	29
不整脈(手術なし)	%	18.6	81.4	100.0
	件	38	166	204
その他心臓疾患(開胸手術)	%	40.0	60.0	100.0
	件	2	3	5
その他心臓疾患(小切開手術)	%	66.7	33.3	100.0
	件	2	1	3
その他心臓疾患(手術なし)	%	38.1	61.9	100.0
	件	8	13	21
脳疾患(小切開手術)	%	50.0	50.0	100.0
	件	3	3	6
脳疾患(開頭手術)	%	22.2	77.8	100.0
	件	4	14	18
脳疾患(手術なし)	%	14.3	85.7	100.0
	件	8	48	56
全体	%	24.2	75.8	100.0
	件	121	379	500

注：その他心臓疾患(小切開手術)では33.3%が、脳疾患(開頭手術)では27.8%が「検査・診断時に不安・不快を感じなかった(意識なし)」と回答している。

③ 「検査・診断を受けたときに騒音が気になった」の割合（静音性の課題）

「検査・診断を受けたときに騒音が気になった」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

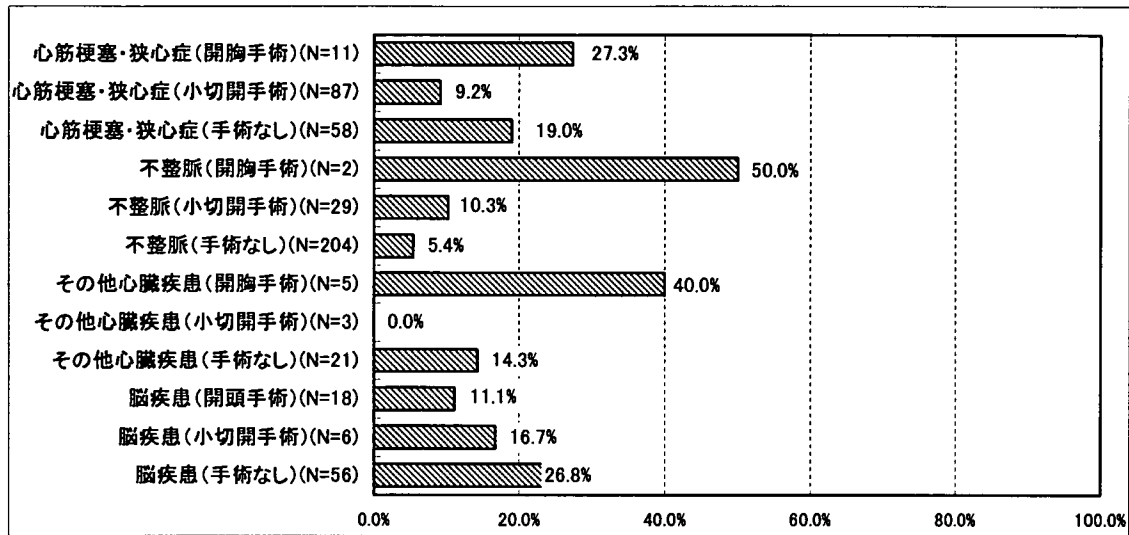


図3.3-16 「検査・診断を受けたときに騒音が気になった」の割合

表3.3-15 「検査・診断を受けたときに騒音が気になった」の割合

疾患区分 (処置区分)		不安・不快を感じた	不安・不快を感じなかった	全体
心筋梗塞・狭心症 (開胸手術)	%	27.3	72.7	100.0
	件	3	8	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	9.2	90.8	100.0
	件	8	79	87
心筋梗塞・狭心症 (手術なし)	%	19.0	81.0	100.0
	件	11	47	58
不整脈 (開胸手術)	%	50.0	50.0	100.0
	件	1	1	2
不整脈 (小切開手術)	%	10.3	89.7	100.0
	件	3	26	29
不整脈 (手術なし)	%	5.4	94.6	100.0
	件	11	193	204
その他心臓疾患 (開胸手術)	%	40.0	60.0	100.0
	件	2	3	5
その他心臓疾患 (小切開手術)	%	0.0	100.0	100.0
	件	0	3	3
その他心臓疾患 (手術なし)	%	14.3	85.7	100.0
	件	3	18	21
脳疾患 (開頭手術)	%	11.1	88.9	100.0
	件	2	16	18
脳疾患 (小切開手術)	%	16.7	83.3	100.0
	件	1	5	6
脳疾患 (手術なし)	%	26.8	73.2	100.0
	件	15	41	56
全体	%	12.0	88.0	100.0
	件	60	440	500

注：その他心臓疾患（小切開手術）では33.3%が、脳疾患（開頭手術）では27.8%が「検査・診断時に不安・不快を感じなかった（意識なし）」と回答している。

④ 「検査・診断を受けたときに検査室内で長時間拘束された」の割合（拘束性の課題）

「検査・診断を受けたときに検査室内で長時間拘束された」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

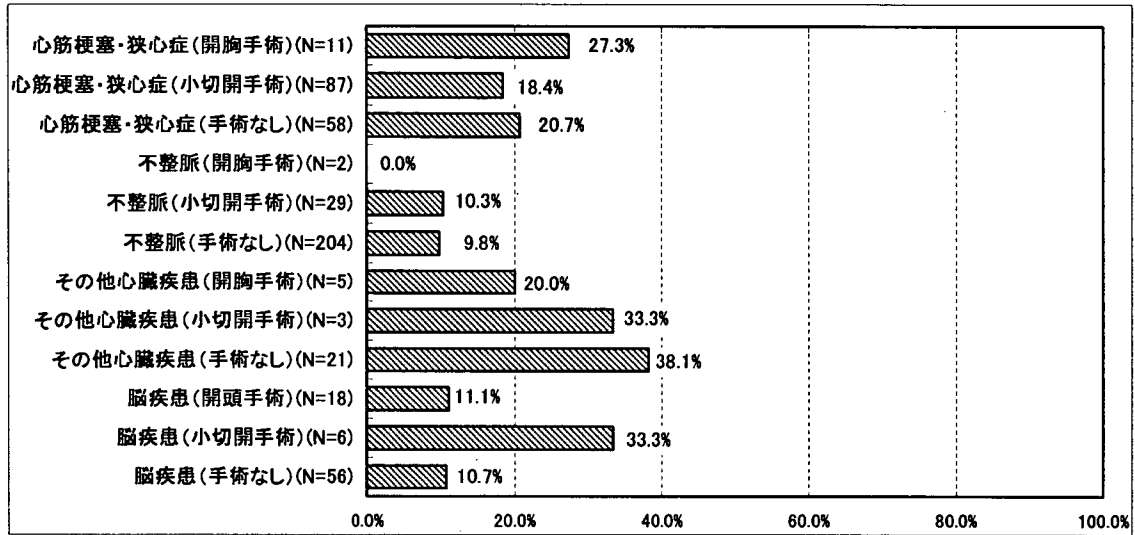


図3.3-17 「検査・診断を受けたときに検査室内で長時間拘束された」の割合

表3.3-16 「検査・診断を受けたときに検査室内で長時間拘束された」の割合

疾患区分(処置区分)		不安・不快を感じた	不安・不快を感じなかった	全体
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	%	27.3	72.7	100.0
	件	3	8	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	18.4	81.6	100.0
	件	16	71	87
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	%	20.7	79.3	100.0
	件	12	46	58
不整脈(開胸手術)	%	0.0	100.0	100.0
	件	0	2	2
不整脈(小切開手術)	%	10.3	89.7	100.0
	件	3	26	29
不整脈(手術なし)	%	9.8	90.2	100.0
	件	20	184	204
その他心臓疾患(開胸手術)	%	20.0	80.0	100.0
	件	1	4	5
その他心臓疾患(小切開手術)	%	33.3	66.7	100.0
	件	1	2	3
その他心臓疾患(手術なし)	%	38.1	61.9	100.0
	件	8	13	21
脳疾患(開頭手術)	%	11.1	88.9	100.0
	件	2	16	18
脳疾患(小切開手術)	%	33.3	66.7	100.0
	件	2	4	6
脳疾患(手術なし)	%	10.7	89.3	100.0
	件	6	50	56
全体	%	14.8	85.2	100.0
	件	74	426	500

注：その他心臓疾患(小切開手術)では33.3%が、脳疾患(開頭手術)では27.8%が「検査・診断時に不安・不快を感じなかった(意識なし)」と回答している。

⑤ 「検査・診断を受けるために日常生活が制限された」の割合（拘束性の課題）

「検査・診断を受けるために日常生活が制限された」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

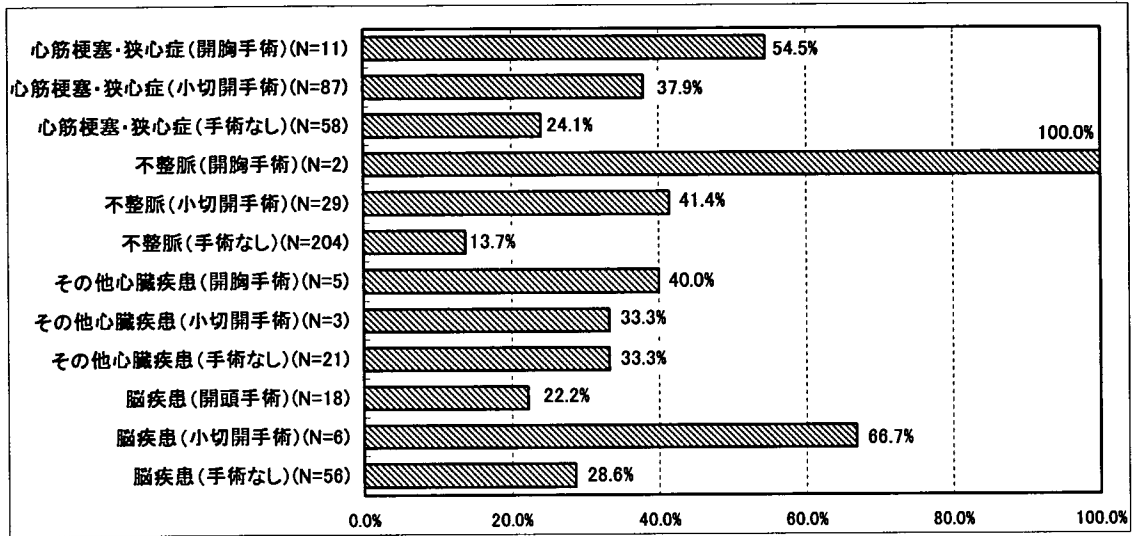


図3.3-18 「検査・診断を受けるために日常生活が制限された」の割合

表3.3-17 「検査・診断を受けるために日常生活が制限された」の割合

疾患区分 (処置区分)		不安・不快を感じた	不安・不快を感じなかった	全体
心筋梗塞・狭心症 (開胸手術)	%	54.5	45.5	100
	件	6	5	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	37.9	62.1	100
	件	33	54	87
心筋梗塞・狭心症 (手術なし)	%	24.1	75.9	100
	件	14	44	58
不整脈 (開胸手術)	%	100	0	100
	件	2	0	2
不整脈 (小切開手術)	%	41.4	58.6	100
	件	12	17	29
不整脈 (手術なし)	%	13.7	86.3	100
	件	28	176	204
その他心臓疾患 (開胸手術)	%	40	60	100
	件	2	3	5
その他心臓疾患 (小切開手術)	%	33.3	66.7	100
	件	1	2	3
その他心臓疾患 (手術なし)	%	33.3	66.7	100
	件	7	14	21
脳疾患 (開頭手術)	%	22.2	77.8	100
	件	4	14	18
脳疾患 (小切開手術)	%	66.7	33.3	100
	件	4	2	6
脳疾患 (手術なし)	%	28.6	71.4	100
	件	16	40	56
全体	%	25.8	74.2	100
	件	129	371	500

注：その他心臓疾患（小切開手術）では33.3%が、脳疾患（開頭手術）では27.8%が「検査・診断時に不安・不快を感じなかった（意識なし）」と回答している。